

# 独立行政法人福祉医療機構からの助成事業一覧

年度	事業名	事業概要
H15年度	母子家庭就業支援のためのバーチャル相談所構築事業	母子家庭の母親は厚生労働省の調査によれば100万人と言われ、離婚の増加などから今後益々増える傾向にある。こうしたひとり親家庭の母親は、雇用機会が少なく、また職場に復帰したくてもそのための技能がないなど、仮に雇用されたとしても収入が少なく、子供の教育費などの支出もままならない状況にあり、安定した生活を営める状況になっていない。そこで本事業は母子家庭の母親の抱えている悩みに対してインターネットを通じたバーチャル相談室を構築し、就業による生活の安定を図るための周辺問題への対応や子育て支援など母子家庭の生活全般にわたり役立てようとするものである。
H16年度	母子家庭の自立支援のためのITを活用した在宅就労の実態調査ならびに就労支援施策研究事業	本事業は、在宅就労、家庭での就業状況や子育て、家庭での問題などをアンケート調査や聞き取り調査などによって明らかにし、ひとり親家庭の母親が仕事の選択や、在宅で仕事を行う際の留意点などを抽出した。それを元に、在宅就労を行う際の指針を整備するとともに、ITを活用した就労支援モデルを構築し、今後の母子家庭への支援策として適用を図り、母親の経済的、精神的な自立に資することとした。
H17年度	母子家庭自立支援のための就労支援ビジネスモデルの構築事業	本事業は、母親が安心して就業できるように、就業支援を進める行政や事業者がどのようなシステムを整備すればよいかを検討し、ビジネスモデルとして構築することを目的とする。本事業の成果は、行政や事業者が母子家庭の自立を目的とした就業支援策を進める上での参考として活用していただき、また全国各地で整備されつつある自立支援センターでも活用できることを期待するものである。
H18年度	インターネットを利用した就業情報提供システムによるひとり親家庭の母親の就労支援事業	当NPO法人あごらでは、安定して母子家庭の母親が在宅就労で仕事が行えるよう、データセンターを現在整備しているところである。母子家庭の母の就業者からは仕事を円滑に行う上での様々な課題が寄せられており、具体的には、孤独な作業であるので自分の仕事の出来映えが評価できない、子育てとの両立が難しい、また一方でデータセンター側からは、就業者の技術レベルがまちまち、在宅での仕事が見えなく安心して仕事が出せない、データの機密保護がされないなどが多くの課題が挙げられている。 本事業は、諸課題に対応するため、在宅ワーカーがインターネットを通してパソコン端末から仕事を行うためのスキルレベルの診断が行え、また、自分のスキルにあった仕事を選ぶことのできるような就業情報提供システムの構築を行った。
H19年度	ひとり親家庭の母親の就業のためのスキルアップ研修システム構築事業	母子家庭の母親は厚生労働省の調査によれば120万人を越え、離婚の増加などから今後益々増える傾向にある。こうしたひとり親家庭の母親は、雇用機会が少なく、また職場に復帰したくてもそのための技能がないなど、仮に雇用されたとしても収入が少なく、子供の教育費などの支出もままならない状況にあり、安定した生活を営める状況になっていない。 当あごらは4年前に発足以来このような母子家庭の母親に対する就労支援を実施し、福祉医療機構の助成事業も踏まえ、基盤整備を行ってきた。現在当あごらでは、パソコンを利用した在宅就労を押し進めているが、スキルの不足や経験不足から十分な収入があがらず、また仕事をしたくてもスキルが不足しているため仕事の受注が思うようにならない、という問題が発生している。 本事業は、就業による生活の安定を図りたい、あるいは再就職のためのスキルを身につけたい、とする母子家庭の母親のニーズに応えるため、スキルアップのための在宅による研修の仕組みを構築することをめざすこととした。
H20年度	ひとり親世帯のライフスタイル・モニタリングシステムの構築事業	本事業は、ひとり親世帯の今の課題を浮き彫りにし、在宅就業を中心とした自立支援事業を当事者の持つニーズにマッチさせるための定点観測(モニタリング)の仕組み構築を目的とする。定点観測を行うメリットは下記のものあげられる。 ・ひとり親世帯の今のニーズを把握できる ・就業や子育てに関する個々の課題に潜む根本的な課題が把握できる ・在宅就業の展開において、ニーズにマッチした対応策を講じることで、ひとり親家庭の母親にとって利用しやすい事業に改善が可能となる 本事業では、世代(ひとり親家庭の母親の年齢層)や地域性を考慮した100名程度の生活ニーズが毎年度インプットされることをめざし、そこで得られた情報から、現状のニーズの把握、ニーズの変化から想定される根本的な課題の把握につながる仕組みの構築を目標とする。